

た い や ま

【学校教育目標】
『心身ともにたくましく
人間性豊かな児童の育成』

「地産地消ふれあい給食会」

11月27日(木)、4年生で実施。

遠藤譲一市長、加藤春男教育長、JA いわてくじ短角牛肥育部会副部長の中屋敷さん、久慈市食生活改善推進員協議会長の小田さん、久慈市農林水産部長の米澤さんがご来校なされ、4年生児童とともに給食を食べながら交流しました。

この日は、久慈特産の「短角牛の日」であり、中屋敷さんから短角牛について、「南部牛とアメリカのショートホーンという種類の牛からできたこと。」「短角牛は肉牛全体の1%しかなく、岩手県、その中でも久慈市山形町が占める割合が高いブランド品であること。」「夏は牧場に放牧し自然の草を食べさせ、冬は牧舎で日本の安全でおいしい餌を食べさせていること。」などを教わりました。

特に、印象に残ったことは、「愛情もって育てた牛を売りに出すのは、悲しいし辛い。でも、それで暮らしているの仕方ないし、皆さんが美味しいと言ってくれるので頑張っている。短角牛に限らず、食べ物すべてが育てる人や調理する人たちの愛情が込められているので、感謝の気持ちをもって、好き嫌いせず残さず食べてほしい。」という言葉でした。また、小田さんからは、バランスのよい食生活について、絵や歌などで分かりやすく教わりました。

食べることは、毎日の営みであり、すべての生活の基本です。

偏食せずバランスよく食べ、命をいただいていることを自覚し、食べ物を粗末にしないこと、生産している人や調理をしてくれている人に感謝の気持ちをもつことなどを折に触れ子どもたちに教えていきたいものです。



【お知らせ】

12月8日(月)の給食は、本校6年生が考えた「リクエスト献立」、名付けて「レインボー給食」です。内容は、ミルクパン、デミソースハンバーグ、野菜のナムル、コーンポタージュ、白桃ゼリー、牛乳です。

こころを磨く・その2 ～ 掃除をがんばろう! ～



11月20日(木)、全校集会での話。

先日、行われた日米野球は侍ジャパンの3勝2敗で幕を閉じましたが、あるニュース記事が目にとまりました。

それは、試合終了後の両軍のベンチ裏を写真で示し、その違いについて述べた記事でした。「日本のベンチ裏はゴミもなく綺麗なのに、アメリカチーム側は、ペットボトルなどのゴミが散乱し、床にはこぼした飲み物の液体や口から吐き出した唾、さらには、口からペッと飛び出す「ひまわりのタネの殻」がそこらじゅうに落ちていて掃除するのも大変だ。」という内容でした。

このことを子どもたちに紹介し、「同じプロ野球の選手でありながらこんなに違いがあるのはなぜだろう？日本のベンチ裏がきれいなのはなぜだろうか？」と問いかけ、「日本の町並みが美しいことに海外から訪れた人たちが感心する。日本人の『美しいことに対する意識(美意識)』がよい文化として根付いている証である。日本人は、小学校の時から学校で『掃除』をして周りを綺麗にすることを大切にしている。」などを話しました。

また、「掃除は周りを綺麗にするという目的以外に、『こころを磨く』という意味がある。誰かが見ていないと手抜きをしたり、面倒だから誤魔化したりすることは、『いいかげんなこころ』を表している。『こころを磨く掃除』を頑張りましょう。」とまとめました。

自分自身のために掃除をするという気持ちは、大人でもなかなか持ちにくいですが、「こころを磨く掃除」に挑戦する子どもが少しでも増えることを期待します。



トイレ改修工事について

現在、トイレの水洗化工事が進んでいますが、12月中旬に使用可能と予定されていた「低学年トイレ」の完成が諸般の事情から遅れることになりました。

12月中旬(17日頃)には、中高学年・職員トイレの取り壊しも始まるため、それ以降、校舎内のトイレがすべて使用できなくなります。最初に着手した低学年トイレが完成するまでの間、校舎外に設置された仮設トイレを使用することとなります。

仮設トイレは、「和式型」で使用後にボタンを押して不凍液を流す仕組みになっています。また、個室から出るときにはロック解除のためにドアつまみを握るようになっています。各担任が使用方法を児童に指導していますのでご安心ください。

なお、社会体育等で体育館を使用している方のトイレは、ゴミステーション脇にある「外トイレ」を利用させていただくこととなりますので、ご協力をお願いします。



インフルエンザ 岩手県も流行期入り

県内64医療機関でインフルエンザとみられる患者数の平均が6.20となり、流行開始目安の1.0を上回ったと本日の新聞に載りました。

流行は今のところ内陸部が中心とのことですが、県内全域に広まるのは時間の問題だと思いますので、十分に予防策を取りましょう。